

楽人

2011 January
Vol.43



特集

学園3高校・幼稚園における
学校評価の取組み

<http://www.tanigaku.ac.jp/>



学校法人 谷岡学園

TANIOKA GAKUEN EDUCATIONAL FOUNDATION

谷岡学園CS理念・方針について

本学園の更なる発展を目指し、現在、学園全体で推進している業務改革・人事改革等の更なる充実に加え、新たな展開や成長を果たすためには、全般的な取組みとしてステークホルダーの満足、いわゆる顧客満足を実現することが重要な要件であり、また、本学園のブランド価値の向上にもつながる施策であると位置づけました。

この事により、建学の精神世に役立つ人物の養成、そして4つの柱である「思いやりと礼節」、「基礎的実学」、「柔軟な思考力」、「楽しい生き方」を実現するための具体的なあり方そのためのしくみや心構えよりところとして、今般、谷岡学園のCS理念方針及び行動指針を正式に定め、まず職員が丸となって取り組むことになりました。

- CS理念
- CS活動を推進するまでの基本的考え方
- 一人ひとりの学生を大切にして、教職員が全力をあげてサポートし、「この学校に来て良かった」という学園を目指します。
- 社会から教育界の「CS学園」と認められるよう努力します。

CS方針

CS活動を推進するまでの基本的方向性

- 「CS学園」としてのブランド価値を高めます。
- 学生の「声」を発想の原点として、学生の満足するサービスを提供します。
- 常に学生の立場になって考え、誠意を持つて行動します。
- 質の高い多様な教育サービスを提供します。
- 「思いやりと礼節」「基礎的実学」「柔軟な思考力」、「楽しい生き方」を身についた学生を輩出します。
- キャンパス環境を充実し、学生生活の満足度を向上します。

CS行動指針

CS活動を推進するまでの具体的な心構え

- 笑顔で対応します。
- 元気で気持ちの良い挨拶をします。
- 早い処理を心がけます。
- 親身になつて指導アドバイスを行います。
- 親切・丁寧な対応を心がけます。
- 話をよく聴き、わかり易い説明を行います。
- 要望相談に誠実・迅速・的確に応えます。
- 約束は必ず守ります。
- 失敗を恐れず、常にチャレンジすることを心がけます。
- 自己研鑽に励み、スキルを高めます。
- 健康に留意し、楽しく仕事をします。

学園3高校・幼稚園における学校評価の取組み

特集

大阪商業大学高等学校

大阪商業大学堺高等学校／大阪女子短期大学高等学校
大阪商業大学附属幼稚園

トピックス

神戸デザインクリエイティブの活動について
大商大JGSS研究センターで共同研究拠点委託費に係る現地調査が行われました
セクハラ・パワハラ防止およびメンタルヘルスセミナーが開催されました
人事異動について(内示)

ニュースファイル

大商大

- アミューズメント産業研究所創設10周年記念シンポジウムを開催・特別展示を実施――
- ビジネス・アイディアコンテストの各賞受賞者が決定
- 第9回全国高等学校ビジネスアイディア甲子園を開催
- バレーボール部全日本バレーボール大学男子選手権大会でベスト4に
- 受託研究の成果報告
- ベルリン・ヴァイセンゼー美術大学との協力協定締結
- 大阪女子短大生考案メニューがコンビニメニュー選手権で商品化決定
- 学長賞が授与されました

神戸芸工大

- バレーボール部が春高バレーに出場
- 全国合板1枚・作品コンペで、大商大高生(デザイン美術コース)3名が受賞
- 地域貢献として、鳳商店街活性化に大商大堺高校美術部が協力
- 道明寺中学校3年生の体験授業が実施されました

大阪大高校

- 金剛合板1枚・作品コンペで、大商大高生(デザイン美術コース)3名が受賞

大阪女子短大高校

- 道明寺中学校3年生の体験授業が実施されました

大商大附属幼稚園

- 大商大高校と連携保育

各校クラブ活動等の活躍について

- クオリティ・オブ・ライフ～自分で、どうなってるの？～
- 各設置校の主な予定
- 編集室コラム

(11)

(9)

(8)

(7)

(5)

(4)

(3)

(2)



新年に当りましてご挨拶申し上げたいと思ひます。

学校法人 谷岡学園 理事長

谷岡 一郎

理事長 年頭挨拶

皆様におかれましては、よいお正月を迎えたこと思います。

政治に経済に、色々な意味で世の中が層混沌としてきてるなどいのが正直などござります。

こんなときこそ、政治・経済から離れた我々教育の分野が一つの指針を日本に示すべきときと考えております。もちろん、政治や経済の方から力添えもなければ、我々教育分野も成り立たないわけですが、教育は教育として新たに独立し、そして、未来に向かって日本はこうあるべきなんだという姿を示すべきときだと考へております。

あまり政治の話はしたないので、ですが、去年、参議院議員選挙が終りました後、とある政党的代表に記者がインタビューしました。「大連立」というのはござりますでしょうか」。そこで皆さんもちょっと考へていたがたいのですが、皆さんだったらどういう答えをなさるか、皆さんがその政党代表の立場だったらどういう答えをするか。この代表はこう答えました。「それだけは100%ありません」。こういう言葉はまともな哲学を持った、政治というものが分かつた人間だと出て参りません。私たたら恐らくこう答えるでしょう。「もし政権与党が我々の政策の大部分に関し協調していただけるなら考えなましよう」。少なくともそう考えなければいけません。全ての政党にと

つて、その政策を実現すること、これが有権者に対する約束の大部分です。

から、それが実現されることに最大限の努力を払う。100%ありませんといつてはいけないです。ですから、このことにおいては、基本的な哲学が欠けているのではないか。今年一年、皆さん教育とはこうあるんだ

と、谷岡学園における教育はこうなんだと、少なくとも哲学を持っていただきたい。いつも申しておりますとおり、我々がモットーとしており

ますのは、私学により、付加価値を生み出す、次の段階へ進ませる。それが我々の使命であります。保護者、本人、その他多くの方が教育にお金を支払ってくださるのは、少なくとも実力を付け、力を付け、付加価値を付け、他の中へ送り出すという使命を

私たちが持っているからであると、常に哲学としてそこへ戻つていただきたいと考えおります。大学の学生募集に関しましては順調に進んでおりまして、これも全て優秀なスタッフのお陰と感謝しております。

また、高校に関しては、大阪府橋下知事が色々と新たな施策を打ち出してきております。ある面では感謝しております。というのは選択の幅が広がつてチョイスできるといふふうに考えております。ですから、皆さんにはその哲学を基本上に、一

ら橋下知事がこう話しておられます。

「親御さんや本人のチョイスがあり、そしてその競争に私学も勝つて生き残ろうなんてセコイことは考えいただきたい」皆さんにはその競争を受けていただきたい、そして勝つて

見せようと考えております。幼稚園に関しても新たな色々な取り組みを園長のリーダーシップの下、進めていると聞いております。大阪商業大学附属幼稚園ならではと言われる幼稚園になるよう、是非進めたいだきたいと思います。

大学に関しては、立命館大学が大阪に進出してくるなど、色々環境の変化があります。しかしながら、我々は立命館大学や他の大学が大阪のマーケットに参入していくことを嫌がつてはいけません。我々も彼らから学ぶものが一杯あるでしょうし、彼らも我々から学ぶものがあるでしょう。そしていい競争をすることは日本、大阪、全てにとつていいことだと思います。ですから競争環境が激しくなることを我々は喜び、ながら皆さんにもお願いしたいと思

います。是非、体には気をつけて一年間健康で、そしてこの東大阪キャンパス、谷岡学園全体を盛り上げてい

していただきたいと思います。皆さん

の協力を心より祈念し、新年の挨拶とさせていただきます。

(1月5日 東大阪キャンパス
理事長 年頭挨拶から)

あるんだということをもう一度認識

学園3高校・幼稚園における 学校評価の取組み

教育機関における教育や研究に関する取組み

状況については、それぞれの機関の健全な発展を促し、社会に対する説明責任を果たすことを目的に、自己点検、自己評価の実施及び公表、第三者による評価の実施及び結果の公表などが求められ

大学、短大などの高等教育機関に対しては、前述のいずれもが関係法令により義務付けられ、本学園においても全ての大学、短大で実施されてい

詩集

学校評価の特徴は、(1)学校の教職員が行う自己評価の実施、(2)保護者や地域の方々による学校関係者評価の実施、(3)その結果を設置者に報告すること、の3点が上げられます。また、第三者評価については、学校評価の一環として学校教育法に規定されていますが、その実施については、学校と設置者の判断に委ねられている点がもう二つの大きな特徴と言えます。

これまでの楽人では、大学、短大の自己点検、自己評価の実施状況や前述の第三者評価の受審状況などについて順次紹介してきましたが、今回の楽人では、3高等学校・幼稚園が取り組んでいる「学校評価」について紹介します。

学校評価の概要

学校評価の概要については、平成22年7月20日付「学校評価ガイドライン「平成22年改訂」」から目的、法的根拠、定義、評価項目等、ポイントとなる部分を抜粋し、その概要について紹介します。

学校評議の目的

①各学校が、自らの教育活動その他の学校運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取組の適切さ等について評価することにより、学校として組織的・継続的な改善を図ること。

②各学校が、自己評価及び保護者など学校関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明

る。よし、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力による学校づくりを進めること。

(3) 各学校の設置者等が、学校評価の結果に応じて、学校に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を

学校評価に関する規定

・学校教育法
第2条 小学校は、文部科学大臣の定める二二

第4条 小学校の教育活動その他の学校運営の状況について評価を行い、その結果に基づき学校運営の改善を図るため必要な措置を講ずることにより、その教育水準の向上に努めなければならない。
※幼稚園、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校等にもそれぞれ準用。

■ 教育課程・学習指導
■ キャリア教育（進路指導）

学校評価の定義

（文部科学大臣の定めるところ）の内容について
は、学校教育法施行規則 第66条・第67条・第68
条に規定されている。

これにより、各学校は法令上、
①教職員による自己評価を行い、その結果を公表
すること。
②保護者などの学校の関係者による評価（「学校
関係者評価」）を行うとともに、その結果を公表
するよう努めるること。
自己評価の結果・学校関係者評価の結果を証
置者に報告すること。

が必要となる。

学校評価力の 訂のポイント

学校評価ガイドライン「平成2年度」の改訂のポイント
従来の「学校評価ガイドライン」(改訂) (平成20年1月31日) の基本構成は変更せず、主に学校の第三者評価に係る内容の追加が行われ、次の事項についてそれぞれ規定された。

- ③ 第三者評価の実施体制
- ④ 第三者評価の評価者
- ⑤ 第二者評価の実施
- ⑥ 第三者評価の評価結果

幼稚園における学校評価について

幼稚園における学校評価について

幼稚園教育においても学校評価を実施し、教育水準向上に努めることが求められています。まず、平成14年の幼稚園設置基準の改正による自己評査に関する規定化、さらに平成19年6月の学校教育法の改正により、自己評査・学校関係者評査の実施・公表、評査結果の設置者への報告等が新たに実施されました。

学校評価ガイドラインにおいて参考として示されている学校評価にかかる評価項目

シートに沿った内容で同幼稚園HPに公開されています。

平成21年度
学校評価

今回の特集では、学校評価の概要を紹介するとともに、学園設置3高校及び幼稚園の平成21年度学校評価結果(記述部分のみ抜粋)を紹介いたします。
(※アンケート結果等の詳細については、各校HPでご確認願います。)

大阪商業大学高等学校



① 教員アンケートによる評価できる事項

1 評価できる事項

である。生徒は行事や部活動に活発に取り組み充実した学校生活を送っている。授業はわかりやすい授業を実践し、生徒も満足している。多様な資格を取得できる。必要な進路情報を提供され、適切なアドバイスと面談を行っている。学校の決まりは妥当で、生徒は生活指導に納得している。生徒や保護者には、連絡を行い、親身になって生徒にいかがわつしている。そのため、楽しくクラスができる、生徒・保護者とも入学して良かったと思っている。

口言
木言
心言

(3) 感想・意見

学校運営の計画性や決断のスピード、やとりが無い。校舎の建替えや設備の充実を求める。女子生徒に対する部活動の問題や居場所の確保が必要である。授業が成立していない授業があり、生徒たちの学習意欲が高まれば活気のある学校になる。教科の到達目標や7、8限目の実効性も含めて学習力を上げる模索が必要である。

る施設設備の充実と将来的な充実の必要性。生徒が意欲的に取り組み、進学実績を考えたカリキュラムや授業方法、教科内容の充実。生徒や保護者から信頼される関係の構築。

Ⅱ 生徒アンケートより 1 評価できる事項

学校全体の雰囲気をよく、自分のクラスが充実している。入学してよかっただ。学校行事、部活動についても充実している。学年によっては、高い評価額であり、学年が上がるにつれて適切な進路指導ができる。一生徒個々に応じた資格が取得できるカリキュラムが実践できている。

② 改善・検討を要する事項

授業の進め方、教える方に、指導面で何よりもなる研究が要る。疾患は妥当と感じて、いるが、指導面に少く、納得できない場面があるようと思われる。教員間の共通した指導案を確立していく必要がある。施設設備について、半数ほどの生徒が不満を感じている。

① 保護者アンケートより 評価できる事項

②改善・検討を要する事項を取り入れたのは“有効”である。

静かに授業を受けている態度、挨拶・進路指導での相談内容・日頃の家庭での保護者と生徒との会話などから、学校生活全般に対する概ね満足度といふ。昨年度課題であった、「家庭との連絡」を密にする方法として、毎年度途中から「メール配信システム」を取り入れたのは、有効である。

7
の違いなり
う場合、そ

補充施設の不満や不本意に思っていることがある。指導などをこの理由などの徹底が必要となつてゐる。

三

分析結果は次のとおりです。

行事や部活動への評価が低い。この点では、教員・保護者の差が大きい。自治活動をどう自らの手でさせていくのかが課題となっている。

かと
学校評価についてのコメント

学校評価についてのコメント

◆ 23年度に向けて

当であり納得しているが、生徒は学年や先生の対応の違いなど、何らかの不満や疑問を持っているようである。

以上のように保護者・教員の評価より生徒の評価の方が低い。これは、保護者や教員の期待と生徒の実感に差があるように思われる。

近隣の地域からも、清掃活動や生徒は身だしなみあいさつも良く、礼儀正しく、学校の雰囲気も良いという評価を得た。その反面、自転車通学生徒のマナーの悪さが目立つという指摘もあった。

◆23年度に向けて

安定的な生徒確保を基本に、校舎新築・耐震工事を完了し、併せて泥とほこりにまみれた男子校からの、居心地の良い各学校への転換期、新しい商大高校づくりのために、ハード面・ソフト面の取組みを、大いに進める年度にしたいと思っています。

大阪商業大学高等学校
校長 大塚信一

5 高校生活

・「自分のクラスが楽しい」反面、自治活動の一部である学校

である。その点を配慮して騒音には充分気をつけてください。特に屋外での集会の場合、昨今の保護者の乱れは大変見苦しいです。学校家庭における家庭教育が大切と痛感します。



大阪商業大学堺高等学校

《近隣小学校教諭アンケート》

① 良い評価

地域との連携評価は非常に高い。マナー評価も高い。部活動も活発であると言ふ評価も高い。校内清掃や施設についても評価は高くなっている。

○課題
教材や教え方についての評価は向上しているが、より一層の努力が必要である。進路希望に沿った補講等の充実が望まれている。校則や社会のルールについての意識が希薄であると評価されている。マナー指導については定の評価がされている。

② 厳しい評価

特になし。

① アンケート結果より（まとめ）

《生徒アンケート》

① 良い評価

全体的に昨年度と同様な結果となっている。入学してよかったです。先生の面倒見がよい。学校行事が楽しい。学校の雰囲気が良くて楽しい。・部活動が活発である。・衛生面での適切な対応。・図書の充実。・健康面での対応。

誠実な行動。外部テストの利用。マナーと挨拶。前年度と同じく校則マナーについて生徒の自己評価に厳しいものを持っていました。先生の面倒見がよい。学校行事が楽しい。学校の雰囲気が良くて楽しい。・部活動が活発である。・衛生面での適切な対応。

誠実な行動。・授業以外の補習・講座体制について。・地域の連携・家庭と学校との協力体制がなされている。・地域との連携・学校生活について。・進路情報の提供。・マナーの向上。

② 厳しい評価

《保護者アンケート》

① 良い評価

全体として評価は昨年度より向上している。入学させてよかったです。先生と生徒の関係がよい。部活動が活発。学校行事は楽ししく協力している。清掃がなされていてよい環境。教育全般に信頼されている。家庭と学校との協力体制がなされている。地域との連携・学校生活について。・進路情報の提供。・マナーの向上。

誠実な評価。教材や教え方に工夫。・校則や社会のルールの指導。・補講・講座の充実。・学習指導や校則については見えにくい部分もあるようである。

② 厳しい評価

教材や教え方に工夫。・校則や社会のルールの指導。・補講・講座の充実。・学習指導や校則については見えにくい部分もあるようである。

③ 学校評価の現状と課題

《生徒アンケート》

① 良い評価

昨年度と同じような評価である。生徒の入学満足度・学校行事は楽しんでいます。・生徒の相談によく応じている。・部活動が活発。・清掃がなされていてよい環境。・学校と家庭との連携・進路・学校行事、生徒の相談・家庭連絡等で熱心に実施しているものについての評価が高い。教職員の連携・清掃面の充実。

・昨年度と同じような評価である。生徒の入学満足度・学校行事は楽しんでいます。・生徒の相談によく応じている。・部活動が活発。・清掃がなされていてよい環境。・学校と家庭との連携・進路・学校行事、生徒の相談・家庭連絡等で熱心に実施しているものについての評価が高い。教職員の連携・清掃面の充実。

② 厳しい評価

生徒の授業の取組みが、より厳しくなっている。・教育施設の充実度。・生徒の校則についての理解。・コース目標に添つた指導。・外部テストの利用。・教員の効果ある研修。・よく充実している。・授業研究について。・人権教育について不十分であると認識。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識をもっている生徒が多い。・マナーと挨拶については昨年より問題意識がある。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識がある。・マナーと挨拶については昨年より問題意識をもっている生徒が多い。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識がある。・マナーと挨拶については昨年よりも問題意識をもっている生徒が多い。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識がある。・マナーと挨拶については昨年よりも問題意識をもっている生徒が多い。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識がある。・マナーと挨拶については昨年よりも問題意識をもっている生徒が多い。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識がある。・マナーと挨拶については昨年よりも問題意識をもっている生徒が多い。

・昨年度よりマナーと挨拶については昨年よりも問題意識がある。・マナーと挨拶については昨年よりも問題意識をもっている生徒が多い。

④ 平成21年度学校評価アンケートによる、まとめ

と課題

① 建学の精神の「誠実」な生き方について

生徒は誠実な生き方についての問題意識を持つてはいるが、昨年と同じ自分の行動が伴わぬことによってだらかを感じているように感じられる。建学の精神の解釈に「思いやりと礼節をさきまえた責任感ある立派な人物」・プラス思考で取り組む楽しい生き方から具体的に実践できるように取り組むことが次年度の課題である。

② 生活指導関係

社会のルールやマナーについては、昨年度同様問題意識は持っているが守っていないと自覚している生徒が多くいる。今年度の課題でもあった具体的な指導をより充実し、心地よく、習慣化、生活化して自己改革をすることが、自分を向上させることにつなげる指導を行う。

③ 進路指導関係

進路情報の提供は改善されている。・補習体制や進学講座の体制について十分であると評価され、「いい」。

④ 教務・授業関係

教育推進・学習指導ともに高い評価である。部活動についても評価が高めである。・教職員との人間関係も評価は高い。

⑤ 現状

授業が分かりやすく展開されている。・生徒の評価と相違がある。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

学校評価についてのコメント

学校評価についてのコメント

学校評価については学校教育法、学校教育法施行規則に規定されています。大阪商業大学堺高等学校においては、平成20年度より3ヵ年同じ形式で学校運営の評価を実施する。・改めて、本校の教育の充実を図る。

3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

④ 教務・授業関係

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

⑤ 現状

授業が実施されている。・学校の雰囲気と楽しい学校生活は高い評価である。

⑥ 次年度に向けて

① 3ヵ年の学校評価を点検し、新たな学校改革の問題点を洗い出していく。・本校の教育の充実を図る。

② 第三者評価を実施する。

③ 進路情報の提供やアドバイスについての開拓

授業に対する取組みについては、昨年度同様厳しい評価であるが、授業内容の改善に取り組むとともに、生活面にも教職員の日常的な取組みと、たゆまない日々の指導実践がなにより大切である。

大阪女子短期大学高等学校



正副担任制度の効果もあり、問題行動への対処だけ

でなく、生徒の出席管理など、日常の生活態度の把握は十分に出来ている。事件・事故の少ない落ち着いた学校

であるが、非行防止などの予防対策も、日頃の教育活動の中でも丁寧に取り組んでいる。

2 生徒の人格的発達のための指導の状況

保護者との連携、生徒の自立的行動、生徒の適正の発見など、概ね出来ている。命の大切さや規範意識の向上についても学校を挙げての取組みが進んでいる。

3 生徒の人的な支援の状況

薬物乱用防止活動、日常の健康観察、疾病予防など、生徒の健康に関する活動は、日常的に丁寧におこなっている。スクールカウンセラーや生徒・保護者の相談に応じ、効果を挙げている。家庭や医療機関との連携もある程度は出来ているが、新型インフルエンザ、古くはSARSの発生など、予期しない伝染病対策も行っている。

4 教育課程・学習指導の状況

学習指導要領をふまえた学習指導計画の作成、生徒の基礎学力を見据えた学習指導計画などは実践できている。しかし図書館の活用を含めた読書指導は、部の取組みにとどまっている。教科担当者とクラス担任との連携を一層深める必要がある。

5 各種データ等の取り扱いと活用

学力調査結果を利用した取組みは、ファインシステムの活用を図ることで進めている。体力調査の結果を利用した取組みは今後の課題である。生徒・保護者・教員のそれぞれが、「伸び」を実感できる仕掛けを作っていく必要がある。

6 教科外教育の取組み

人権教育は、古くは解放教育に始まり、伝統的にしかも熱心に取り組んでいる。食育については家庭科などで取り上げているが、全校的な取組みにはなっていない。

7 進路指導

大学見学など進学に向けた取組みは進んでいる。進路資料の収集と、これを基にした進路相談は熱心に行っている。進路を決定させるための学習も系統的に進めている。職場体験活動は実施していたが、これに代わるものとして年間計画をもとに進路学習を計画的に進めている。進学者がほとんどこの学校ではあるが、いずれ全ての生徒が就職することを前提に活動を展開する必要がある。

8 生徒指導の状況

情報機器や視聴覚機器、図書館を利用した授業研究や授業改善の取組みは弱い。校内研修については、参加率がよく、時宜を得たテーマで取り組んでいる。外部研修への参加率は低下している。出張のための時間確保などを進める必要がある。教員の能力向上に向けた取組み

みは概ね出来ていると感じているが、教員の資質向上に向けた取組みは弱い。指導力不足教員への指導も不十分である。

9 教育目標・学校評価

教育目標の設定と自己評価の実施状況

生徒や学校の実態、地域との関係を見据えた教育目標の設定、重点目標の設定は適切に行っている。学年、分掌、教科単位での総括は丁寧に実施しており、全ての分野で次年度に向けた改善が行なわれている。目標にそつた自己点検評価については、実施できていない。

学校関係者評価の実施状況

保護者アンケート、生徒アンケートは毎年実施し、職員会議でも報告している。これをもとに、翌年度の教育目標の改善に向けた努力が行なわれているが、全ての課題を解決できているわけではない。ただ、過去3年の保護者アンケートでは、25項目の殆どで満足度が高まっており、教職員の熱心な取組みの結果と見ている。

学校に対する生徒・保護者の意見・要望等の状況

匿名性を担保しつつ、保護者アンケートなどを通して、意見・要望を把握している。

10 学校関係者評価について

学校関係者評価を地域から2名及び保護者代表者1名の方々を迎えて行った。冒頭、校長より自己点検結果及び保護者アンケート結果について説明をし、質疑応答や意見交換を行った。評価委員の方々からの意見の主な内容は次のとおり。

■本校は最近風紀面もよくなっています。また、学力面についてもレベルアップに繋がる仕組みを作り進められている。教育は、学校教育・家庭教育・社会教育のバランスがとれた育て方が必要である。その意味でも、本校の建学の理念である4つの柱を実践されると素晴らしい学校になるとと思う。また、入学する生徒のレベルも昔は低かったが、現在は良くなっていますように思う。

広報的にも女子高の良さと特徴として、学校が変わってきたことをアピールできる仕掛けをし、PRしていくべきではないですか。

▼大学も全入学時代になってしまった。勉強意欲を持たせることができないのではないか。

他方教員側は、生徒の学力の伸長と卒業後の進路充実に対しても責任を持つこと、視聴覚機器を利用した立体的授業支援を必要とする生徒の指導個々の資質向上などを示しています。

他方教員側は、生徒の学力の伸長と卒業後の進路充実に対して二層責任を持つこと、視聴覚機器を利用した立体的授業支援を必要とする生徒の指導個々の資質向上などを示しています。

また、学校関係者からは、女子校としての存在意義を高めること、建学の精神を具現化すること、生徒の希望進路を実現することなどを指摘していただきました。

申し上げるまでもなく、評価は改善を目的としているものが、難しくなってきてあるようですが、特徴のある懸案事項が発生しており、それが懸念に活動をしている。併設短大とも連携し、専門学校へ進学する生徒や四年生大学に通学しながら講師を採用し、国公立大学へ進学できるよう指導していけば、生徒募集にも繋がるのではないか。

また、昨今の不況のためか社会一般的に高校卒業後、専門学校へ進学する生徒や四年生大学に通学しながら、専門学校へ行くダブルスクールをしている学生が増えてきているように聞いている。併設短大とも連携し、専門

に進学するメリットをアピールしてはどうか。

▼私の娘は現在3年生に在学しているが、娘が一年生の頃から比べると学校が大きく変わったと実感している。2、3年生は生徒数も少ないので、1年生は128名の入学者となった。

以前は、生徒及び保護者から「ある先生は何を喋つていて解らないとか」「テストの内容が同じだつたりする」とか「等の中でも丁寧に取り組んでいます。

は生徒数も少ないので、1年生は128名の入学者となりました。生徒は、外部にアピールが必要である。強化クラブで思う。もっと外部にアピールが必要である。強化クラブで苦情があつたが、現在は無くなっている。

また、クラブ活動についても全般的にアピールが少ないと思う。もっと外部にアピールが必要である。強化クラブであるバーレーボール部など、熱心なクラブもある。

施設・設備は以前に比べると充実してきているが、保護者が来校する機会が少ないので、保護者アンケート上では、低い結果になっている。体育祭等保護者がもつと学校に来る仕掛けをすれば、良い結果になると思う。

服装についても以前に比べると、きちんとできているが、正門を出ると部活動している生徒の姿が見受けられる。しかし、随分と学校は変化してきている。

学校評価についてのコメント

平成21年度分の学校評価をガイドラインに沿って実施しました。概要は別項で紹介しているとおりです。

本校の場合特徴的に表れているのは、生徒・保護者の評価(満足度)は多くの項目で高いが、教職員の評価(実践度)効果が低いということではないかと捉えています。

少子化が進む中、学校生活は、生徒・保護者にとっては唯一のものであり、他と比較し難くなつていて、生徒が満足していないれば、保護者も満足するという傾向が出ているのだと思われます。

今回の評価項目とは別に、授業アンケートを実施しました。その結果でも、生徒たちは多くの授業で高い満足度を示しています。

他方教員側は、生徒の学力の伸長と卒業後の進路充実に対して二層責任を持つこと、視聴覚機器を利用した立体的授業支援を必要とする生徒の指導個々の資質向上などを示しています。

また、学校関係者からは、女子校としての存在意義を高めること、建学の精神を具現化すること、生徒の希望進路を実現することなどを指摘していただきました。

申し上げるまでもなく、評価は改善を目的としているものが、難しくなってきてあるようですが、特徴のある懸案事項が発生しており、それが懸念に活動している。

併設短大とも連携し、専門学校へ進学する生徒や四年生大学に通学しながら、専門学校へ行くダブルスクールをしている学生が増えてきているように聞いている。併設短大とも連携し、専門

大阪商業大学附属幼稚園



評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程の編成実施に関して、教職員間の共通理解をはかる	建学の理念と幼稚園教育要領の接点を求め、全教職員で再確認し、教育課程のねらいを立て、それに基づき学年毎に内容を検討することができた。
建学の理念、教育要領、教育課程、子どもの実態等を基に指導計画を作成する	建学の理念と幼稚園教育要領の接点を基に各項目に対する指導計画を学年で作成し、学期毎に加筆、訂正を行っている。
教育の質の向上のために園内研修を充実させる	PDCAサイクルを念頭におき、学期2回の教職員全体会議に加え、各行事の打合せ及び反省会や、日々職員室での上司・先輩・後輩の意見に耳を傾け、お互いの考え方を出し合い議論する機会がもてた。研修会などの積極的参加がもっと必要である。
保護者のニーズの把握につとめ、要望や苦情に適切な対応をはかる	保護者との懇談や参観、学年親睦会などで定期的に実施。保護者の思いや考えを受け止め出された意見に対して、必要なものに対しては園の考え方を示し、改善すべきものは改善するように取り組んできた。

- 3 評価項目の達成及び取組状況**
- 2 本年度、重点的に取り組む目標・計画**
- 評価項目に沿って自己点検・自己評価することによって、教職員自らが客観的に自園を見る目を養い、施設改善・教育内容の改善に主体的に取り組むことを重点項目とします。

- 1 本園の教育目標**
- 建学の理念『世に役立つ人物の養成』にむけて人間形成の土台作りを行います。
- ① 豊かな心を培い基本的生活習慣を身につける
 - ② 小学校にならがる力を育てる
 - ③ 柔軟な思考力と豊かな感性を育てる
 - ④ 楽しい生き方

4 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員が学校評価の主旨を理解し、各自適切に自己点検、自己評価に取り組む必要性を感じた。今後も客観的な目で自らの教育保育を振り返り、資質向上に努めた。施設面では環境整備や室内・園庭の自然など、環境構築に力を入れており、子どもがその環境に自らかかわり、探索しながら育っていくことを、今後も継続していく必要性を感じた。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
安全管理	不審者情報が幼稚園協会や警察から隨時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応が十分でないで施設面での対応と教員の意識つけ並びに危機管理マニュアルの見直しを行いたい。
特別支援教育	特別な配慮を要する子どもの困っている状況の把握と個別の指導計画の作成を検討する。年度初めより柔軟な対応が取れるよう準備する必要があると共にキンダーカウンセラーの配置を検討する。
園に対する保護者の満足度の把握	建学の理念に基づいた教育に十分配慮しつつ、子育て中の保護者が期待する幼稚園像を把握し、現代社会において求められる幼稚園の姿を確認することで、本園のビジョンを策定する基礎とした。

学校評価についてのコメント

- 6 学校関係者の評価**
- 22年度より実施する方向で検討中である。
- 学校法人谷岡学園として、大阪府私学・大学課及び公認会計士監査により、適正に運営されていると認められている。

幼稚園における学校評価については、これまで自己点検・評価並びに結果の公表や保護者等への情報提供は努力義務とされてきましたが、平成19年の学校教育法並びに学校教育法施行規則改正により自己評価・学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規定が新たに設けられました。さらに「幼稚園における学校評価の推進に関する調査研究協力者会議」における議論を踏まえ学校評価ガイド(改定)に示された内容に準じて、平成20年3月に「幼稚園における学校評価ガイド」が作成されました。そこで、(財)全日本私立幼稚園児教育研究機構として、私立幼稚園の自己評価と解説の発行に続き、私立幼稚園版「学校評価ガイド」を発行し、各園で、自己評価・学校関係者評価・自己評価の結果の公表に取り組むことになりました。

21年度自己評価公表は初めてですが、自己点検・評価を基に自らを振り返り、全教職員が学校評価の主旨を理解する努力をしました。また、施設設備・保育の構造や保育の成果などについて改めて目をむけてみることができました。教職員同士の意思疎通も重要であることが再確認できることは、成果のあった年だと思います。次年度においても保育を行っていく上でプランをチェックする過程のどこをどのように評価するかについて考えることが大切になります。評価の方法や手法の開発にも取り組んでいきたいと思います。

園長 國久 美代子
大阪商業大学附属幼稚園



大商大アミューズメント産業研究所 創設10周年記念シンポジウムを開催・特別展示を実施

平成22年11月13日(土)に大阪商業大学ユーバーシティホール蒼天において、大商大アミューズメント産業研究所の創設10周年記念として、「日本伝統ゲームの継承・普及と地域振興」ゲームがまちを元気にするー」をテーマに、シンポジウムが開催されました。

大商大伊木穂教授の基調講演の後、群馬県上毛かるた・高知県篆籠の関係者による伝統ゲーム約200点を展示する特別展示「世界の伝統ゲーム展 創設10周年を回顧して」が開催されています。

広島県尾道市因島「囲碁」、滋賀県彦根市「カラム」、石川県能登町「いた」、北海道下の句かるた・山形県天童市「将棋」、群馬県「上毛かるた・高知県篆籠」の関係者が発表され、取組み内容が地域の子どもたちへの「競」にも波及した事例などを紹介されました。

また、研究所内では、平成23年1月11日(火)から2月13日(日)まで世界各国の民族や文化によって伝えられているボードゲーム、カードゲーム等の伝統ゲーム約200点を展示する特別展示「世界の伝統ゲーム展 創設10周年を回顧して」が開催されています。

世界各地で遊ばれていながら日本では馴染みが薄い「バツクギャモン」と呼ばれる双六の種や、アフリカや東南アジア一帯で遊ばれている「マンカラ」と呼ばれる豆や石を使うゲームが展示されています。また、日本の伝統ゲームとしては、平安時代からある「貝合わせ」の道具も見ることができます。創設以来様々な国で収集した貴重なゲームが見ることができます。

大商大ビジネス・アイディアコンテストの各賞受賞者が決定

学長賞の松村さんのプレゼンテーション



伝統工芸品としてのヤンマー将棋 パネルディスカッションの様子

した。(12月25～29日実施)
受賞者とビジネス・アイディアは、次のとおりです。

●学長賞

総合経営学部商学科2年 松村真生「この傘かつたってー」

●副学長賞

NPO法人東大阪地域活性化支援機構理事長賞
総合経営学部経富学科3年 杉山祐脩「スタンバー!?」何所でも樂々 裝式奉立てー」

●東大阪商工会議所会頭賞

経済学部経済学科2年 中西明「なんでもやるゾー!! 小さな仕事OK!」

●審査員特別賞

・総合経営学部商学科1年 中郷裕崇「もう捨てさせません!!」
「ハイ弁当～ビジネス～とメールで売れ残りゼロ!!」

・経済学部経済学科3年 阿部章作「Akiyado～空き家を活用した会員制別荘サービスの提案～」

・総合経営学部経富学科1年 白瀬幹雄「ケータイで簡単一野球場でグルメ注文システム」

平成22年12月11日(土)に、大阪商業大学ユーバーシティホール蒼天において、第9回全国高等学校ビジネス・アイディア甲子園の最終審査と表彰式が行われました。



入賞者との記念撮影

大商大第9回全国高等学校ビジネス・アイディア甲子園を開催

平成22年10月29日(金)に、大学祭初日で賑わう大阪商業大学ユーバーシティホール蒼天において、第8回大商大ビジネス・アイディアコンテストの公開プレゼンテーションが開催され、学長賞はじめ5つの賞の受賞者が決定しました。同コンテストは、大商大学生を対象としており、今年度は、728件の応募がありました。その中から1次・2次審査を突破した7名のファイナリストが、各アイディアを映像や資料を交えてプレゼンテーションしました。今回のプレゼンテーションでは、最近の大学生らしく、携帯電話のメールやツイッター等の情報機器をビジネスに生かすアイディアが多く見られました。また、企業が子子高齢化や環境問題等の社会問題といかにして関わっているかという重大なテーマに挑んだ意欲的なアイディアもありました。

なお、各賞の受賞者には、賞状と賞金が授与され、上位入賞者4名には、副賞として、経済成長が著しいベトナムの首都ハノイへの海外ビジネス研修旅行が贈られました。

★グランプリ(1件)

「高齢者電話サービス(詐欺防止・生活安心サービス)」

愛媛県立弓削高等学校 1年 グループ名:パソコン部B

(古木・佐伯流星、竹内哲也、山下一将)

★準グランプリ(2件)

「オーダーメイド・ブックストア」

広尾学園中学高等学校 2年 清見祐美子

「めぶきの家」
兵庫県立西宮高等学校 1年 グループ名:核家族化対策班
(中山樹園山拓実、中田美保、西岡侑希子、野本和歩)

★審査員特別賞(2件)

「災害おなづけナビ」

滋賀県立大津商業高等学校 2年 大橋美月

「J近所ペット」

静岡県立伊東商業高等学校 1年 後藤圭介

「J近所ペット」

NHKドラマ「チャレンス」番組使用CG制作
受託事業として、平成19年「ジャッジ」、20年「ジャッジII」、21年「再生の街」と3年続けてNHK土曜ドラマの美術協力を行いましたが、平成22年8月28日(土)～10月2日(土)に放映された「チャレンス」においても番組を使用するCG制作を行いました。金融と競馬という全く違う世界を舞台に、夢をあきらめず不屈に生きる人々の人間模様を描いたヒューマンドラマで、最終話の著名投資家のプレゼンを行うシーンで使用されました。

(前述2件の担当教員・長瀬伸貴環境建築デザイン学科准教授)

■ワールド神戸元町メディアースでの店内ディスプレイ

株式会社ワールドが神戸元町で展開する商業施設「メディアース」において11月16日(土)から11月20日(木)まで「あなたは美しい...そして、最美へ...」をテーマに、芸大生が制作したペーパークラフトドレードによる店内演出が行われました。

同社では「ワールド産業連携アートブロジェクト」として、全国の10店舗において、18大学の学生によるビジュアルアートプロジェクトで店頭を演出する取組みを行っていますが、本取組みもこの環として行われました。

ロダクト・デザイン学科助教、田頭章徳プロダクト・デザイン学科助教、久富敏明デザイン教育研究センター准教授

■神戸市原付ナンバープレートのデザイン制作

(担当教員: 澄能徹ファシヨン・デザイン学科准教授、見明暢アート・デザインした原動機付自転車(原付)のナンバープレート(4種類)のデザインをビジュアル・デザイン教育研究センター准教授)

■神戸市原付ナンバープレートのデザイン制作

神戸市からの受託事業として、「デザイン都市・神戸」をイメージした原動機付自転車(原付)のナンバープレート(4種類)のデザインをビジュアル・デザイン教育研究センター准教授

■神戸市原付ナンバープレートのデザイン制作

各設置校の主な予定

1/11(火)～2/13(日)	・特別展示「世界の伝統ゲーム展—創設10周年を回顧して—」 [大商大 学術センター U-BOX]
2/7(月)	・講演会「大商大附属幼稚園」(於 大商大 蒼天) ・ミュージアムセミナー 「描かれた大坂一浪華名所を読み解くー」第2講【大商大】
2/11(金)	・第2回JGSSリサーチ・セミナー【大商大】
2/11(金)～2/13(日)	・芸工大卒展 [於 兵庫県立美術館(芸術の館・原田の森ギャラリー)、 神戸ファッション美術館(オルビスホール)]
2/11(金)	・企業と大学の情報交換会(神戸ベイシェラトンホテル)[芸工大]
2/15(火)	・学園創立記念日 ・教育GPシンポジウム「フィールドワーク型教育の可能性 ～実践が大学教育にもたらすもの～」[大商大]
2/18(金)	・卒業式【大商大堺高】
2/19(土)	・卒業式【大商大高・大阪女子短大高】 ・公開講座「社会と家族の関わり」[大阪女子短大]
2/22(火)	・和紙じ本作り実習授業(於:東大阪市立意岐部小学校)[大商大]
2/26(土)	・郷土文化講演会(河内の郷土文化サークルセンター主催)[大商大]
2/28(月)	・卒業式【至学館高】
3/2(水)	・園長と考える子育てサロン【大商大附属幼稚園】
3/7(月)	・ミュージアムセミナー 「描かれた大坂一浪華名所を読み解くー」第3講【大商大】
3/18(金)	・学位記授与式【大阪女子短大】
3/19(土)	・学位記授与式【芸工大】 ・学位記授与式【至学館大/至学館大短大部】
3/19(土)～21(月)	・第3回谷岡杯争奪高校生バーボール大会【大商大】
3/19(土)～20(日)	・全国高等学校囲碁選抜大会【大商大後援】
3/25(金)	・学位記授与式【大商大】
3/30(水)～31(木)	・第3回谷岡杯争奪中学生バーボール大会【大商大】

●各大学・短大入試日程

・大商大	・至学館大
2/12 大学院入試(春期)	2/5 大学院入試センター試験プラス入試(個別試験)
2/20 前期一般入試B日程、 後期スポーツ推薦入試、編入・転入学試験	2/13 大学院入試(II期)
3/8 後期一般入試	2/26 一般入試(II期)
・神戸芸工大	・至学館大短大部
2/18～19 大学院入試(B日程)	2/5 大学院入試センター試験プラス入試(個別試験)
3/5 一般入試(後期)	2/26 一般入試(II期)
・大阪女子短大	
1/6～2/16 後期AO入試・受付・面接	
3/2 後期一般入試	

●高校入試日程

1/31 至学館高(推薦入試)
2/9 至学館高(一般入試)
2/10 大商大高・大阪女子短大高 筆記試験・面接試験(専願のみ) 大商大堺高 筆記試験
2/11 大商大高 実技(デザイン美術コースのみ) 大商大堺高 面接試験(専願のみ)

各行事の詳細については各校のHPにてご確認ください

本学園における個人情報の取扱いについて

学校法人谷岡学園(以下「本学園」という。)では、個人情報の重要性を認識し、これを保護するとともに、「個人情報の保護に関する法律」に沿って、適切に管理し、利用します。

また、本学園は、保有する個人情報に対して、必要かつ適切な安全管理措置を講じ、個人情報の漏洩、滅失、毀損等を防ぐよう努めます。

個人情報取扱業者の名称及び氏名:

学校法人谷岡学園 理事長 谷岡一郎

個人情報の取扱いについての問合せ窓口

学校法人谷岡学園 法人本部 総務課 個人情報取扱係

電話:06-6781-0384

Quality of Life クオリティ・オブ・ライフ

自分で、どうなつてゐる?

学校現場でカウンセラーをしていると、たまに「講演会」なるものを頼まれる。先日も、「教育講演会」で話す機会を頂き、思春期の特徴や思春期の子ども達が抱く悩みなどについて、お話をした。少し、ここで思春期を振り返ってみたい。

思春期は、人生の中でも大切な課題を抱えている時期であることは周知のことである。変化していく“新しい身体”に上手に付き合っていく“新しい心”を身につける必要が生じる時期である。

思春期にはいくつかのテーマが存在するが、その中でも「自尊感情」は、「対処と適応の指標」であると言われ、自尊感情の高さ・低さは、様々な面に影響を及ぼすと言われている。自尊感情とは「自分は価値のある人間だ」と思える気持ちである。自尊感情が低いということは「自分は価値のない人間だ、駄目な人間だ」と思ってしまうことで、自信のなさに通じ、対人面にも影を落とす。抑うつや不安、学業成績の低下などの関連が示されているのである。

思春期の子ども達は、保護者(養育者)の庇護の元に成長してきたのであるから、その影響が大きいことは否めない。大切なことは、子ども達が「大切にされている、愛されている、尊重してもらっている」と感じられる家庭環境で育つことである。やはり「褒める」ことは重要なになってくる。

さて、講演会を終了した後に校長先生とお話をしていた際に、こんなことを尋ねられた。「自尊感情の話が出たが、先生方が対応に苦慮している生徒の中に自尊感情の高い子が多いが、それはなぜだろう?」と。

自尊感情を高めることの大切さを話した後だけに返答に困ってしまったが、もう一つ大切なことを思い付いた。確かに、「自分はできる」という思いの強い不登校のお子さん達に出会うことが結構あるのだ。そんな時に私の感じる違和感のようなもの、それは「この子の感じている『自分』って、どんなやうろう?」という疑問である。周囲から聞こえてくるその子(『自分』)と、その子自身の感じている『自分』との間にかなりのギャップがあるのだ。そんな子に出会った時には、「できる」という言葉がまるで「できないよ、助けて」という悲鳴と重なって聞こえてしまう。

校長先生のおっしゃる「自尊感情の高い子」の「できる」は、実際の『自分』と本人自身の思う『自分』との間でギャップのない「できる」なのか?その日、そこまで確かめる術はなかったが、思春期の子ども達の抱える問題の奥深さを感じさせられた経験であった。そして、改めて「できる」自分を認められ褒めてももらうことの大切さ、そしてもう一方「できない」自分も受け入れてもらうことの大切さの存在を忘れてはならないと思い知られたのである。

川村
三紀大阪商業大学
堺高等学校
心理相談員

編集室コラム

少し考えるところもあって今まで買うのをためらっていたのですが、昨年末、ついに我が家にもWi-Fiがきました。子供とは遊んでもいい時間を決めて守らせているのですが、自分の時間が過ぎてしまうと、ゲームを見たいがために私や家内にゲームをするようせがみます。たまに応じたときなどは、こちらの操作がますでキャラクターを減らしてしまうのに子供たちからはなんともいえないため息がもれ、“なんでそんなところで??”と不思議がられる始末。その時の子供の表情は是非皆さんにも見てもらいたいと思うことさえあります。一緒にプレイをしたらして、操作が未熟なせいか、協力しながら進むどころか、お互いの操作のまことに我慢ができず、こちらも大人気なくもついムキになってたいてい口論になってしまいます。中高生の頃のようにはまりすぎないように、楽しみたいと思います。(1)

学校法人 谷岡学園

TEL:06-6781-0385

大阪商業大学
神戸芸術工科大学
大阪女子短期大学
大阪商業大学高等学
大阪商業大学堺高等学
大阪女子短期大学高等学
大阪商業大学附属幼稚園

http://ouc.daishodai.ac.jp/
http://www.kobe-du.ac.jp/
http://www.owjc.jp/
http://www.daishodai-h.ed.jp/
http://www.shodaisakai.ac.jp/
http://www.osakajyosi-h.ed.jp/
http://www.shodai-kids.ed.jp/

学校法人 至学館

TEL:0562-46-1291

至学館大学
至学館大学短期大学部
至学館高等学校
至学館大学附属幼稚園

http://www.sgk.ac.jp/
http://www.sgk.ac.jp/
http://www.shigakukan-h.ed.jp/
TEL:0562-46-1294

Gaku
jin